

グローバル・プロスペクティブ・ファンド

<愛称:イノベティブ・フューチャー>

設 定 日 : 2019年6月28日

償 還 日 : 無期限

決 算 日 : 原則、毎年5月20日

収 益 分 配 : 決算日毎

基 準 価 額 : 24,961円

純 資 産 総 額 : 3,285.73億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。

※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運 用 実 績

<基準価額の推移グラフ>



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

<資産構成比率>

アモヴァARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA 円建投資証券	99.0%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1%
現金その他	0.9%

※比率は対純資産総額比です。

<分配金実績（税引前）>

22・5・20	23・5・22	24・5・20	25・5・20	26・5・20
0円	0円	0円	0円	0円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

<基準価額の騰落率>

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
15.66%	5.94%	18.32%	19.78%	107.56%	149.61%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

<基準価額騰落の要因分解>

前月末基準価額	21,582円
要 因	
株式	3,281円
為替など	83円
分配金・その他	15円
当月末基準価額	24,961円

※当ファンドの基準価額は基準価額算出日の前営業日の投資先投資信託のデータを反映して算出しています。一方で上記の要因分解は投資先投資信託の月末営業日の公表されたデータを基に計算しており、基準日が異なります。この差異による要因は「為替など」に入ることためこの部分の数値が比較的大きな数値になることがあります。

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めいただくことを目的として、アモヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



アモーヴァARKディスラプティブ・イノベーション・ファンドクラスA 円建投資証券

※上記円建投資証券の管理会社より提供された情報です。比率は当円建投資証券の純資産総額比です。

※株式等に預託証券等の有価証券を含みます。

＜資産構成比率＞

資 産	比率
株式等	98.2%
現金その他	1.8%

＜通貨別組入上位5通貨＞

通 貨	比率
米ドル	99.3%
日本円	0.6%
オーストラリアドル	0.0%
シンガポールドル	0.0%

＜国・地域別組入上位10カ国＞

国・地域名	比率
アメリカ	86.7%
カナダ	4.6%
ケイマン諸島	2.4%
スイス	2.0%
台湾	1.4%
スウェーデン	1.0%

＜業種別組入上位10業種＞

業 種	比率
情報技術	32.8%
ヘルスケア	24.5%
金融	15.0%
一般消費財・サービス	12.2%
コミュニケーション・サービス	9.9%
資本財・サービス	3.2%
エネルギー	0.6%

＜組入上位10銘柄＞（銘柄数：46銘柄）

	銘 柄 名	通 貨	国・地域名	業 種	比率
1	Tesla Inc テスラ	米ドル	アメリカ	一般消費財・サービス	8.4%
2	SpaceX スペース・エクスプロレーション・テクノロジーズ	米ドル	アメリカ	コミュニケーション・サービス	5.7%
3	Tempus Ai Inc テンパスAI	米ドル	アメリカ	ヘルスケア	5.5%
4	Circle Internet Group Inc サークル・インターネット・グループ	米ドル	アメリカ	情報技術	5.2%
5	ROBINHOOD MARKETS INC - A ロビンフッド・マーケット	米ドル	アメリカ	金融	4.5%
6	COINBASE GLOBAL INC -CLASS A コインベース・グローバル	米ドル	アメリカ	金融	4.3%
7	SHOPIFY ショッピファイ	米ドル	カナダ	情報技術	4.0%
8	Palantir Technologies Inc パランティア・テクノロジーズ	米ドル	アメリカ	情報技術	3.6%
9	Advanced Micro Devices, Inc. アドバンスト・マイクロ・デバイセズ	米ドル	アメリカ	情報技術	3.3%
10	10X GENOMICS INC-CLASS A 10X・ゲノミクス	米ドル	アメリカ	ヘルスケア	3.2%

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

＜規模別構成比率＞

時価総額	比率	時価総額	比率
1000億米ドル以上	39.7%	20億米ドル以上 100億米ドル未満	17.0%
500億米ドル以上 1000億米ドル未満	6.3%	20億米ドル未満	3.1%
100億米ドル以上 500億米ドル未満	31.9%		

マネー・アカウント・マザーファンド

※以下は当マザーファンドにおける数値です。比率はマザーファンドの純資産総額比です。

＜資産構成比率＞

資 産	比率
債券	60.8%
現金その他	39.2%

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

8月の主要株式市場は、堅調な企業業績や米国のインフレ圧力の低下を好感したことなどから、上昇しました。為替市場では、円相場は対米ドルでわずかに円高ドル安となり、円ベースではより小幅な上昇となりました。セクター別では、素材、情報技術、一般消費財・サービスなどが相対的に好調となった一方、公益事業、不動産、生活必需品などは出遅れました。

当ファンドでは、破壊的イノベーション株式への逆風は、暗号資産、A I（人工知能）、医療分野などにおける政策変更や、予算調整措置法における減価償却軽減措置などの財政措置に支えられ、構造的な追い風に転じつつあると捉えています。これらにより、米国は世界で税制競争力の高い経済の一つになる可能性があり、海外直接投資の増加を引き込み、ドル高を支え、インフレ期待の下振れや金利低下を促し、イノベーション主導の成長にとって追い風となる環境を創出すると考えられます。米国のトランプ大統領の成長重視政策、そしてA I、ロボット工学、エネルギー貯蔵、ブロックチェーン、マルチオミクスにおける画期的な進歩と相まって、これらの力は生産性とイノベーション主導の成長の新たな波を引き起こす可能性があります。

◎運用概況

当月の基準価額は、前月末比で上昇しました。

個別銘柄では、サークル・インターネット・グループ（ソフトウェア・サービス）は、暗号資産市場全体が大幅に下落してきたなかでもUSDC（米ドルに連動するステーブルコイン）の総供給量が安定していることなどを受けて、堅調となりました。米国連邦準備制度理事会（FRB）の新議長就任を受けて利上げ期待が高まっていることも、さらなる好材料となりました。また、同社が9月に公開を予定している、決済をベースとしたレイヤー1ブロックチェーンのパブリックメインネットをめぐる期待の高まりも、今後の先行きに対する追い風となりました。テンパスA I（医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス）は、米バイオテクノロジー大手と米製薬大手が共同開発するメラノーマ（悪性黒色腫）向け個別化がんワクチンについて、第3相臨床試験で良好な結果が公表されたことを受けて株価が上昇しました。また、同社が買収を予定している米国のがん遺伝子検査企業が当該プログラムにおいて腫瘍遺伝子解析技術を提供していることから、買収によるシナジーへの期待も投資家の関心を集めました。パランティア・テクノロジーズ（ソフトウェア・サービス）は、好調な第2四半期決算が好感されました。米国の企業向け売上が著しく増加するなか、大幅な増収を達成しました。また、旺盛な需要や顧客基盤の拡大を受けて通期業績見通しが上方修正されたことで、投資家心理が一段と下支えされました。テスラ（自動車・自動車部品）は、ネバダ州での商用ロボタクシーサービス許可申請の承認や、自動運転タクシー専用車の公開イベント開催の発表など、一連の好材料を受けて、堅調となりました。また、同社CEO（最高経営責任者）が率いる米宇宙開発企業と共同で計画する大規模な先端半導体製造工場について、建設地をテキサス州に決定したことを発表しました。その初期段階において、両社は多額の投資が必要になると見込まれます。スペース・エクスプロレーション・テクノロジーズ（電気通信サービス）は、上場後初となる四半期決算において、A I（人工知能）関連設備投資を1年未満に回収できるとの見方を示したことが好感され、堅調となりました。また、同社の宇宙船を将来的には年間数千回の頻度で打ち上げる計画を示し、ルイジアナ州に新たなロケット打ち上げ拠点を建設するプロジェクトを発表したことは、同社の成長性の高さを一層裏付ける動きとなりました。

一方、Cerebras Systems（半導体・半導体製造装置）は、第2四半期決算において売上高が前年同期比で大きく伸びるなど、業績指標は好調で、ハードウェアおよびクラウド分野がともに引き続き好調な受注が見込まれたものの、市場では業績見通しの上方修正幅が物足りないと感じ止められたことなどから、軟調となりました。Rocket Lab（資本財）は、第2四半期決算において、中型ロケット「Neutron」の初回打ち上げ時期をめぐる不透明感が意識されたことに加え、利益面の見通しへの懸念などから、株価が下落しました。打ち上げサービス需要は堅調で、米宇宙軍との大型契約を含む複数の重要な受注を獲得したものの、これらの好材料は株価の下支えには至りませんでした。ヴェラサイト（医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス）は、7月末に発表した第2四半期決算において増収を達成したものの、低リスク患者層における市場環境の変化を受けて検査件数の先行き見通しが引き下げられたことなどが嫌気され、株価が下落しました。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



ご参考情報

※「組入上位10銘柄の銘柄概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入を保証するものでもありません。
※記載の見解等は、信頼できると判断した情報（作成基準日現在）をもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成したものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

<組入上位10銘柄の銘柄概要>

1 Tesla Inc / テスラ

テスラ車は、ソフトウェアアップデートにより自動運転が可能となることを前提としたハードウェアを搭載し販売している。車体販売時のみ収益を獲得する従来の売り切りモデルから、自動運転ソフトの有効化および自動運転ライドシェアの展開により、販売後も継続的な収益を得るMaaSビジネスへの移行が期待される。

2 SpaceX / スペース・エクスプロレーション・テクノロジーズ

SpaceXの名称で事業に従事する航空宇宙・宇宙技術会社。再使用可能なロケット技術を開発し、世界最大の低軌道ブロードバンドコンステレーションであるStarlinkを運営。軌道上データセンター構想では、宇宙での計算能力拡張をサポートすることで最先端AIモデル開発を支援。

3 Tempus Ai Inc / テンパスAI

人工知能を活用して精密医療の高度化を推進するヘルスケアテクノロジー企業。同社は、腫瘍学など複数の分野において、アルゴリズムに基づく診断の先駆的な取り組みを進めている。ゲノムデータおよび診断データから構築された同社の「データ・モート（参入障壁）」は、アルゴリズム医療における独自の競争優位性となっている。

4 Circle Internet Group Inc / サークル・インターネット・グループ

金融テクノロジーソリューション企業。完全に準備金で裏付けられた米ドル連動型ステーブルコイン「USDCoin（USDC）」の主要な発行体。ブロックチェーン技術を活用したシームレスな資金移動インフラを提供し、企業、開発者、金融機関が信頼性の高いデジタルドル基盤上で、取引、決済、アプリケーション構築を行う環境を提供。

5 ROBINHOOD MARKETS INC - A / ロビンフッド・マーケット

アプリベースのオンライン証券会社で、個人投資家が無料で株式や暗号資産の取引を行うことができる。個人投資家向けに革新的な投資体験を提供しており、高いブランド力を構築し、新たな顧客を継続的に獲得している。また、顧客基盤をもとに、退職年金関連商品を含む新たな金融商品の拡張余地が大きいとみられる。

6 COINBASE GLOBAL INC -CLASS A / コインベース・グローバル

暗号資産の規制企業で2012年に設立。最も信頼される暗号資産取引所の1つである。同社は暗号資産に関連する各種サービスを提供していることから、市場の拡大と連動して成長することができると見られる。

7 SHOPIFY / ショッピングファイ

ショッピングファイは、商取引プラットフォームと実際の店舗において、販売業者が消費者に直接商品やサービスを提供できるような技術を提供している。また、金融サービスと独自の決済方法であるShopPayも提供する。将来、より多くの金融サービスを販売業者や消費者に提供する可能性がある。

8 Palantir Technologies Inc / パランティア・テクノロジーズ

情報分析ソフトウェアを開発するソフトウェア開発会社で世界各地で事業を展開。政府機関や大企業向けにデータ統合とアナリティクスを提供。

9 Advanced Micro Devices, Inc. / アドバンスド・マイクロ・デバイセズ

半導体メーカー。企業および個人向けに、マイクロプロセッサ、埋め込みマイクロプロセッサ、チップセット、グラフィックス、動画、マルチメディア製品および関連技術の提供を行う。

10 10X GENOMICS INC-CLASS A / 10X・ゲノミクス

ライフサイエンステクノロジー企業で、シングルセル解析向けプラットフォーム（ハードウェア、消耗品、ソフトウェア）を提供するリーディング企業。シングルセル解析に加え、空間プロファイリングやイメージング領域への展開を積極的に進めている。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



ファンドの特色



主に、世界の上場株式の中から、破壊的イノベーションを起こし得るビジネスを行なう企業の株式*を実質的な投資対象とします。

*預託証券を含みます。

- イノベーションの普及度合いや市場での評価は時間と共に変化することから、投資対象とするイノベーションは固定せず、随時見直しを行ないます。
- 外貨建資産への投資にあたっては、原則として、為替ヘッジは行ないません。



個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。

- イノベーションにフォーカスした調査に強みを持つ、米国のアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー（アーク社）からの助言をもとに、アモーヴァ・アセット・マネジメント・アメリカズ・インクが当ファンドの主な投資対象であるルクセンブルグ籍円建外国投資法人「アモーヴァARKディストラブティブ・イノベーション・ファンド クラスA」の運用を行ないます。



年1回、決算を行ないます。

- 毎年5月20日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

「破壊的イノベーション」とは

商品やサービスの性能をより高める「持続的（継続的）イノベーション」に対して、既存の技術やノウハウの価値を破壊し、全く新しい商品やサービスを生み出すものを「破壊的イノベーション」といいます。アーク社では、破壊的イノベーションには3つの条件があると考えています。

アーク社が考える破壊的イノベーションの3つの条件

- 1 劇的に生産性の向上をもたらすこと
- 2 急激なコスト低下をもたらすこと
- 3 イノベーション・プラットフォーム*であること
*他のイノベーションとの融合や、イノベーションの創出を促す共通基盤となりやすい性質をもつイノベーションのこと

過去の破壊的イノベーションには、18世紀末の「蒸気機関」や、20世紀の「コンピューター」などがあります。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行えない場合があります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセット・マネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限（2019年6月28日設定）
決算日	毎年5月20日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日、 ニューヨークの銀行休業日またはルクセンブルクの銀行休業日に該当する場合は、 購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して8営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の 適用対象となります。 ※当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により 取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.3%（税抜3%）以内</u> ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
--------	---

換金手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>

運用管理費用 （信託報酬）	純資産総額に対し年率1.658%（税抜1.58%）程度が実質的な信託報酬となります。 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率0.858%（税抜0.78%）、投資対象とする 投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.8%程度となります。
------------------	--

その他の費用・手数料 目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、
監査費用、運用において利用する指数の標章使用料などについては、ファンドの日々の純資産総額に
対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息
などがその都度、信託財産から支払われます。

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、
表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 www.amova-am.com 〔コールセンター〕 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

■お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
- ・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

信用リスク

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

為替変動リスク

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

カントリー・リスク

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・プロスペクティブ・ファンド＜愛称：イノベティブ・フューチャー＞」へのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は **アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社**
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○		
株式会社イオン銀行 （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第15号	○	○	○	
株式会社SBI証券 ※右の他に、以下にも加入 一般社団法人日本STO協会 一般社団法人日本暗号資産等取引業協会 日本商品先物取引協会 株式会社SBI新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券） （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○
株式会社SBI証券株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
大山日ノ丸証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第5号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第6号	○		○	○
みずほ証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第94号	○	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○
m o m o o証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3335号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。